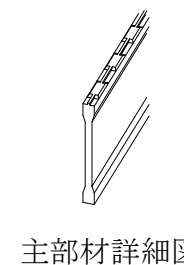
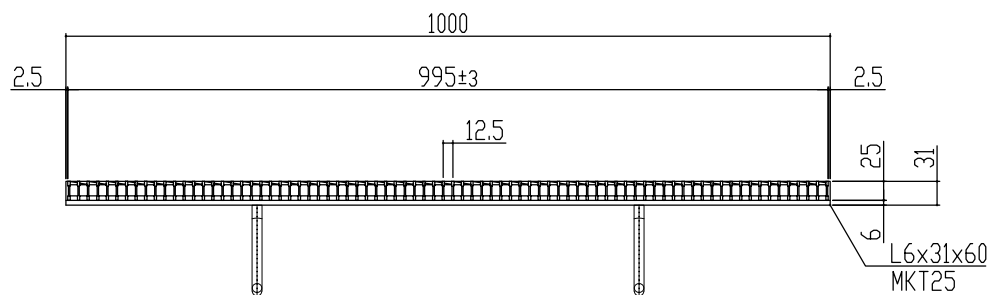
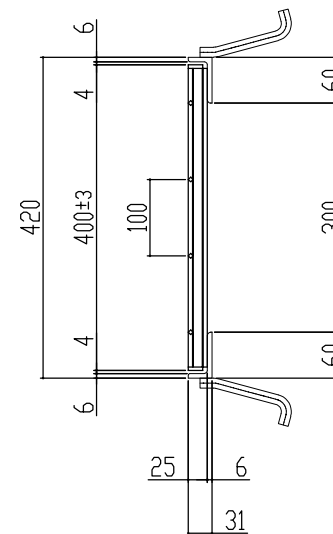


← 車輛進行方向(側溝) →



本体重量 16.9kg  
 受枠重量 8.2kg  
 合計重量 25.1kg

表面処理 本体は熔融亜鉛メッキ仕上げ  
 (JIS H8641)  
 受枠は錆止め黒塗装仕上げ

主部材詳細図

訂正年月日 訂正番 訂正年月日 訂正事項 訂正者承認印 承認印 検印 製図 図面名称	標準製作図面							一般側溝用(ハイテン)グレーチング 溝幅300用 細目 ノンスリップ T-14 LNHM253-3	株式会社 マキテック MK駐輪事業部
	試作図面								
	特注図面								
	検討図面								

# グレーチング強度計算書



1 仕 様	品名	LNHM253-3
	製品寸法	400x995x25
	主部材	I-3 × 1.8 × 25
	断面係数	Z = 0.301 cm <sup>3</sup>

2 設 計 条 件	荷重条件	T-14	支点間距離	L = 300
	後輪一輪荷重	P = 56000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm <sup>2</sup>	車両進行方向	主部材に対し、縦断
	主部材ピッチ	O = 12.5 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 500 mm		

3 強 度 計 算	1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: $\omega$ (N/mm)を求める。			
	$\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積}$ より			
	$\omega = 56000 \times (1 + 0) \times 12.5 / 100000$			
	$\omega = 7.00$ (N/mm)			
	2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。			
	$M = \omega \times L \times L / 8$ より			
	M = 78750			
	M = 78,750 (N・mm)			
	3. 曲げ応力度: $\sigma_b$ (N/mm <sup>2</sup> ) を求める。			
	$\sigma_b = M / Z$ より			
$\sigma_b = 78,750.0 / 301.000$				
$\sigma_b = 261.63$ (N/mm <sup>2</sup> )				
従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm <sup>2</sup> ) に対し、				
<u><math>261.63</math> (N/mm<sup>2</sup>) <math>\leq</math> <math>320</math> (N/mm<sup>2</sup>)</u>				

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。		
-------------	--	--	--